

研修報告書 No. 4

所 属： 三豊総合病院

研修先： 渭南病院

四国の最南端の高知県土佐清水市の渭南病院で 2023 年 5 月 1 日から 6 月 4 日まで地域医療研修を行いましたので、報告します。

私が医師臨床研修をしている病院も私たちの県内では比較的、田舎の方にある病院です。それでも、渭南病院をみると、高知市内から車で 2 時間以上かかり、最寄駅までも車で 40 分かかり、交通のアクセスはお世辞にもいいものではありませんでした。また土佐清水市自体、非常に高齢化が進んでおり、人口は約 1 万 2 千人、高齢化率が 50%を超えており、地域に公立病院がない市でした。つまり、人口減少と過疎化が進んでいる地域です。土佐清水市にある一般病床は渭南病院の 20 床のみであることに驚きました。このような高齢化が進んでおり、医療資源が足りていない地域の医療を学ぶことは非常に良い経験になりました。

研修の内容としては、午前中は一般外来や救急外来、午後から、訪問診療、施設への往診や病棟処置などを行いました。午前中の一般外来では主に common diseases から、外傷の処置、創傷の縫合、動物咬傷、熱傷や褥瘡の処置など、様々なことを経験しました。今までは、外来での処置以降の経過については、紹介状を書き、外のクリニックにフォローを依頼することが多かったのですが、渭南病院では毎日外来をしていたので、傷や熱傷などの経過を最後まで自身でフォローすることができ、非常に勉強になりました。また、肺炎、尿路感染症などで外来治療を行なった時にも、最後まで自身で経過をフォローすることができました。救急外来では、徒歩来院なのに SAH や脳出血、大動脈解離であったケースなど、渭南病院では対応できない疾患を 1 時間かけて、基幹病院に搬送を行ったり、高知市内に搬送するために近くのヘリポートまで搬送を行ったり、様々な経験ができました。渭南病院がなければ土佐清水の方はどんな疾患でも海岸沿いの曲がりくねった道を 1 時間かけて、基幹病院に行かなければならず、渭南病院である程度、疾患の緊急度を振る分けることが患者さんのために、非常に重要であることを実感しました。

手技としては、挿管や入院患者さんの頸部や鼠径部からの CV の挿入、腹水穿刺、胸水穿刺、褥瘡の処置など行いましたが、特に CV の挿入は何度も経験することができました。また、月に 1 度程度行っている全身麻酔での手術にも参加することができました。

訪問診療への付き添いも行いました。土佐清水市全域が対象地域であり、特に終末期を自宅で迎えたい方を中心に、診療を行いました。病院に入院している時より、自宅に帰ると表情が良くなったり、食事が食べられるようになる姿を直接見て、患者さんの希望に合わせた医療の重要性を感じました。また、週に一度、施設への診療にも行きました。施設では定期薬の処方や、症状に応じた薬の処方、コロナワクチンの接種、必要に応じて画像検査など、

病院と施設で連携して、医療を行っていることがわかりました。

渭南病院には一般病床が 20 床、地域包括ケア病床が 30 床、医療療養病床が 55 床あり、急性期の患者さんから、慢性期の患者さん、自宅に退院を目指す患者さんと様々な段階をみることで、急性期を脱した患者さんが、どのようにして、退院し自宅や施設に帰っていくのか、一連の流れを学ぶことができました。退院を目指すためには、栄養状態の改善と ADL の改善が重要であり、栄養状態が不良である患者さんには早期に経静脈栄養を行い、徐々に経口での食事開始を目指していました。ADL に対しては P T、S T、O T などが早期にリハビリに介入し、退院を目指していました。毎日、回診をしていくうちに、退院に向けて最も重要なのは、いかに患者さん自身で経口摂取ができるかということだと痛感しました。

地域医療を知るには、土佐清水市自体の地域性も知ることが重要であり、休日には、土佐清水市や幡多地区の観光、地元の新鮮な美味しい料理を食べることができました。特に、清水サバの刺身は絶品でした。土佐清水という地域の雰囲気についても肌で直接感じることができました。

今回、1 ヶ月間研修させていただき、地域医療について学ぶことができ、また土佐清水市という地域の魅力も感じるすることができました。非常に充実した研修になりました。

毎日、直接指導していただいた院長先生には、地域医療のあり方や、地域医療に対する信念をお聞きでき、これから研修医が終了してからの自分の医師としてのあり方を考えるきっかけをくださいました。

最後に渭南病院の院長先生、医局の先生方、外来スタッフ、病棟スタッフ、その他のスタッフの皆様、高知県での地域医療研修を支援して下さった高知医療再生機構の皆様、本当にありがとうございました。